

# むささび

第29号

平成28年9月27日発行

JForest 北信州森林組合

〒383-0061 中野市大字壁田938-1

TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350

URL <http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>

E-mail [musasaki@jforest-kitashinshu.or.jp](mailto:musasaki@jforest-kitashinshu.or.jp)



6月4日(土)に飯山市文化交流館「なちゅら」で第45回全国林業後継者大会が開催されました。  
(関連記事4～5ページ)

JForest 北信州森林組合 0269-38-0371  
〒383-0061 長野県中野市大字壁田938-1



組合ホームページもあります。ぜひ、ご覧ください!  
<http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>  
スマートフォン対応となっています。

主な内容

- 第67回全国植樹祭…………… 2
- 飯山市で北信州植樹祭開催…… 3
- 第45回全国林業後継者大会…… 4
- 全国林業後継者大会交歓の夕べ・ 5
- 海外からの研修視察を受入…… 6
- 地域の山林紹介⑦…………… 7
- 長野県消防ポンプ操法大会…… 8



ひと ゆめ みどり  
 第67回 信濃から 未来へつなぐ 森づくり  
**全国植樹祭** ながの 2016

# 第67回全国植樹祭が開催されました。

長野県で五十二年ぶりとなる全国植樹祭が開催されました。県民植樹祭が五月二十一日から県下十カ所で行われ、六月五日に長野市のオリンピック記念アリーナエムウエーブで、私たちに様々な恵みを与えてくれる森林を県民が協働して守り、活かし、未来に引き継いでいくことを全国に発信する場として、天皇、皇后両陛下がご出席され、記念式典が開催されました。



天皇皇后両陛下によるお手播き

記念式典では、天皇、皇后両陛下により、長野県らしい林業樹種、歴史・文化に関わりのある樹種、地域の森林を代表する樹種から、ヒノキやシナノキなど六種類の苗木がお手植えされ、カラマツやシラカバなど四種類の種子がお手播きされました。

この後、代表者記念植樹、記念式典アトラクション、大会宣言、リレーセレモニーなどが行われました。

記念式典アトラクションでは、山ノ内町のABMORRで森林づくりを行っている歌舞伎俳優の市川海蔵さんが、勸進帳の「延年の舞」を披露されました。

このほか、プロローグアトラクションでは「御柱祭」の木遣り歌や、「ながの祇園祭」の権堂町勢獅子、「御代田の龍神まつり」の龍神の舞などが出演し、結びのエピローグでは、松本蟻ヶ崎高校書道部の書道パフォーマンスに続いて、宇宙飛行士の油井亀美也さんのメッセージがあり、最後に唱歌「ふるさと」の大合唱で閉幕となりました。



式典と記念植樹に参加された組合役員の皆さん



市川海蔵さんの延年の舞



# 平成28年度北信州植樹祭が開催されました。

…… 第67回全国植樹祭県民植樹として開催 ……

五月二十一日に飯山市「菜の花公園」と「上野の森」を会場に、平成二十八年度北信州植樹祭が、第六十七回全国植樹祭県民植樹として開催されました。

北信州植樹祭は、北信地域における健全な森林づくりと、緑豊かな環境整備を進め、潤いのある郷土づくりを推進することを目的に、毎年管内市町村で開催されているものです。

当日は、北信地域から六百名の参加があり、ヤエビニシダレザクラやツバキなどが植栽され、当組合が苗木のホームステイで育成していたマユミも植えられました。今年度は全国植樹祭の県民植樹ということもあり、植樹指導を行う当組合のウエルンジャーも、バージョンアップした姿で、子供達にもわかりやすく、植え方の紹介をしていました。



開会式が行われた菜の花公園



バージョンアップした造林戦隊ウエルンジャー



来賓と主催者の皆さん



上野の森の会の表彰



犬飼福島森林保護組合の表彰

## 北信州林業賞の表彰

開会式では、北信州林業賞の表彰が行われ、飯山市の「上野の森の会」と「犬飼福島森林保護組合」が受賞しました。「上野の森の会」は上野の森の整備を継続して行ってきたこと、「犬飼福島森林保護組合」では、森林境界明確化や森林整備など、地域の森林整備の中心的役割が評価されて今回の受賞となりました。

表彰では北信林業振興会長の竹節山ノ内町長から両団体会長に表彰状と記念品が贈呈されました。



# 第45回全国林業後継者大会が開催されました。

「人・技・気持ち つなげよう 未来へ」を大会テーマに飯山市で開催



第45回全国林業後継者大会の開会式典

全国植樹祭の関連行事として、全国林業後継者大会が六月四日に飯山市文化交流館「なちゅら」で開催されました。  
林業後継者大会は昭和四十五年福島県開催の全国植樹祭から始まったもので、今回で四十五回目の開催となります。  
来賓に今井林野庁長官を迎え、中島長野県副知事、足立飯山市長ほか関係者が出席し、開会式典が行われた後、トークセッション、そして大会宣言が宣言され、次期開催県である、宇井富山県実行委員会会長が引継ぎの挨拶をし閉会となりました。



トークセッション主演者をパネラーとして行われた意見交換

今回の大会は、全国の林業後継者が一堂に会し、森林を育む担い手として果たす役割について意見を交わし、健全な森林を持続的に育成することにより、豊かな社会を築くことを全国に発信することを目的に開催されました。

トークセッションでは、基本コンセプトを「育て、活き活き林業人」と題して、技術士の大槻幸一郎氏が総合進行を行い、県林業大学校や県内で活動している団体の活動発表や、当組合とオーストリア大使館の先進事例報告の後、出演者がパネラーとなり、会場参加者との意見交換が行われました。

意見交換では、林業大学校の学生の発表で示された、雇用条件や林業現場の課題について、パネラーが答える形で質疑が行われました。



林業関係と木材関係の後継者代表による大会宣言

質疑の後、大槻氏から成熟期を迎えている国産材を当たり前に使う社会、造林・生産・加工・販売の一連のサイクルの利益配分の透明化を図り、各ユニット相互の適正な競争と共存の中で、活き活きと林業を実現し、こうしたことに挑戦しながら、豊かな森林づくりと地域活性化の実現を目指す姿としてまとめられました。

大会宣言では、森林資源の活用を当たり前とする社会の実現を目指し、森林・林業の循環を取戻し、森林を健全な状態で未来に引き継ぐことを役目であるとし、本大会を契機に、林業後継者として自信と誇りを持ち、森林を育て利用することにより、豊かな地域社会を築くために積極的に取り組んでいくことが宣言されました。



# 会場では様々な催しが行われました。

後継者大会は大ホールで行われましたが、会場となった「なちゅら」全ての施設で、大会に付随した催しが行われました。

飯山市で毎年開催しているアスパラ祭り、大会と併催で正面の芝生広場で行われ、市民に加え大会参加者も交えて大いに賑わいました。

館内では、小ホールで市民を対象に、大会の様子を同時放映したパブリックビューイングが行われ、その他でも長野県下の各林研グループの展示や物販などが行われました。

また、駐車場では協賛した林業関係企業十四社の機械・器具の展示と、高井農林高校や長野県森林組合連合会などの物販が行われました。

今回の大会は、県外・県内合わせ五百六十名の参加があり、パブリックビューイングや展示に市民の方も百四十人余り訪れ、総数で七百人余りと、たいへん盛況な大会となりました。



当組合とアジア航測などの展示ブース



駐車場で行われた林業機械展

## 交歓の夕べに270名が参加 鬼島太鼓の演奏にアンコールも



大会と併催のアスパラ祭

大会終了後

に、交歓の夕べが同じ会場でありましたが、会場転換の待ち時間で、飯山市が企画した「まちなかミニツアー」で初夏の飯山を散策したり、トークセッション出演者の展示ブースで、引き続き質疑をしたりし、二百七十名が交歓の夕べに参加しました。

交歓の夕べでは、アトラクションで鬼島太鼓が披露され、地元食材や県下各地から用意した地酒などが振る舞われ、全国各地の参加者同士での意見交換で盛り上がりました。

交歓の夕べの後は、飯山市内の大会参加者特典協力飲食店マップにある十一店舗に足を運び夜遅くまで、飯山の街を堪能した方も多かったようです。



なちゅら大ホールで開かれた交歓の夕べ



## イラン国から研修視察

四月十二日に独立行政法人国際協力機構の依頼で「イラン国チャハールマハール・バフティヤール州参加型森林・草地管理プロジェクト」に係る研修を当組合で行いました。

イラン国からは同国の経済企画庁などからの研修員六名が当組合に来られました。

当組合の森林地理情報システム（GIS）を使った森林管理について研修を行いました。特に境界確定の重要性と集約化施策により、雇用が創出されたことが注目されたようです。



## 韓国から研修視察

五月二十五日には、東京大学大学院の依頼で韓国森林庁が主管する、森林経営担当者の海外研修を当組合で行いました。

当日は、韓国代表团（山林庁、地方自治体、山林組合等）二十人が来所され、当組合の森林施業プランナーと集約化施策の取組みについて研修をしました。

## 香港留学生との共同研究

信州大学に香港から留学している張桂安君の卒業研究を当組合と共同で行うことになりました。

当組合では航空レーザー計測による森林解析データを森林GISに取り込んでいますが、張君は地上レーザーとUAV（無人航空機）を含めた実践的な課題について取り組んでいるようです。

五月二十七日には、張君と信州大学の加藤正人教授、研究室の学生達が当組合に来て、研究の打合せと準備を行いました。今後の成果にご期待ください。

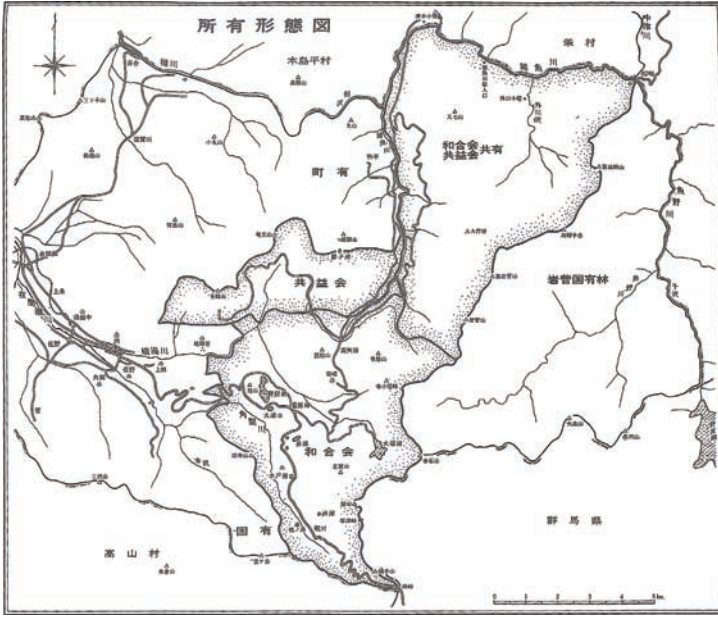




地域山林の紹介⑦  
一般財団法人 下高井郡山ノ内町共益会

共益会の山林は、五つの地籍（五輪、塩路、竜王、乙見沢、大恣）からなり、一千ヘクタール以上の山林を所有しています。また、岩菅地籍にも和合会との共有山林があります。古くは江戸時代から、湯田中、沓野両村の人達が共有地として、自由に山林資源の採取ができた地域です。

明治維新後の地租改正に伴う国有地化を防ぐため、林野に永久的な地上権の設置をしました。それを基本財産として昭和三年に共益会が設立されました。



山林での活動



明治の後半、五輪地籍の一部を割山にし、湯田中各組に割り振りました。当時各組には共同浴場があり、浴場建て替え時には莫大な費用がかかりました。そのため、負担軽減を目的に、組ごとスギ、カラマツ等を植林させ、その収益をあてることとしました。こうしたことから毎年、境界見回り、下草刈り、雪起こし等をしており、現在も境界の見回りを実施しています。

また、昭和五十六年、共益会山林の一部（大恣地籍）を焼額山スキー場として、株式会社プリンスホテルに貸し出しています。

今後の展開

当組合では、平成二十七年年度から、湯田中各組山を含む共益会山林の一部で、「五輪林業経営団地」を設定し、森林整備を計画しています。今年度より、人工林を対象に作業道を開設し、搬出間伐を実施しています。平成二十九年度からは、各組山と、竜王地籍のカラマツ林で搬出間伐を計画しています。

昔から湯田中地区の人々の生活の一部を支えてきた、共益会の豊富な資源が有効活用できる、山林づくりをめざしています。

現在の森林整備の様子



作業道開設

間伐作業



# 長野県消防ポンプ操法大会

## ポンプ車操法の部に木島平村南部分団が出場

七月三十一日に小海町総合グラウンドで開催されました「第五十八回長野県消防ポンプ操法大会」でポンプ車操法の北信消防協会代表として木島平村消防団（滝沢良一団長・当組合利用事業室長）南部分団が出場しました。

木島平村消防団南部分団のポンプ車操法チームの指揮者は、当組合業務課集約化担当の関真一さん、一番員は林産班の嘉部安紘さんが務めました。

勤務後に夜間練習を続け、木島平村大会、北信大会と勝ち抜き、県大会への出場となりました。今年二月に消防庁から消防団協力事業所に認定された当組合の取組みに違われぬ大健闘でした。



### 平成 27 年度森林・林業白書から抜粋

#### 事例 I-4 ICTを活用した生産管理手法の導入

長野県の北信州森林組合では、施業集約化のために取り組んだ境界明確化や森林資源調査で得られたデータについてのデジタル管理を進めているとともに、原木の生産や流通についても、ICTを活用した生産管理手法を導入している。

画像情報等を用いて林内の山土場や中間土場に極積された製材用材や合板用材の数量を把握する手法や、搬入等を行うトラックの規模等でチップ用材等の数量を把握する手法を導入することで、ICTを用いて出材量や出荷量といった情報をリアルタイムに森林組合の中で共有することを進めている。また、作業日報や経費、出来高等の労務管理の把握についても、ICTにより効率化を図っている。このような取組を進めた結果、素材の迅速な取引が可能となった。



当組合の取組みが平成二十七年  
度森林・林業白書で紹介されました。

本所 〒383-0061 中野市大字壁田938番地1  
 (中野・豊田担当) TEL 0269-38-0371(代) FAX 0269-23-5350  
 利用事業室・飯山支所 〒389-2255 飯山市大字静間383番地14  
 TEL 0269-62-8111 FAX 0269-62-8111  
 山ノ内支所 〒381-0405 山ノ内町大字夜間瀬6819-1  
 TEL 0269-33-8665 FAX 0269-33-8678  
 木島平支所 〒389-2302 木島平村大字往郷973-1  
 TEL 0269-82-3123 FAX 0269-82-3123  
 野沢温泉支所 〒389-2592 野沢温泉村大字豊郷9817  
 TEL 0269-67-0454 FAX 0269-85-3803  
 ねんりん 〒389-2613 野沢温泉村大字虫生2383-1  
 TEL 0269-85-4441 FAX 0269-85-4441  
 直売所 TEL 0269-85-4141 FAX 0269-85-4141

### 編集後記

今年は全国植樹祭関連の行事が続き、特に当組合では全国林業後継者大会が地元飯山市で開催ということで、本号も全国植樹祭と全国林業後継者大会の特集のようになりました。

後継者大会の当組合ブースはたいへん盛況となりました。海外からの視察などもあり、当組合の取組みが多方面から注目されているようです。